



尚古假字用格

全

尚古假字用格

大槩

梓仁園藏

世の偽をばつひの法字をあらわすに用行何假字遣ははれ

形なきことせしめつぎくた字偽をあらわすに用行何假字遣ははれ

どとりあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

とくは純潔を感くあらはれしとありてあまごころとありてあま

しつるあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

とありてあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

あまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

とありてあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

とありてあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

とありてあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

とありてあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

とありてあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

とありてあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

とありてあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

とありてあまごころけの世は中世の世なりとありてあまごころ

尚古假字用格

東郡 山本明清輯

以之部

伊以怡異易已移夷肄意音也寢眠宿膳射五訓也

五十二音 馬聲二音

一言

い 網 蜘蛛の佃きいふ

二言



い 唯 應對 辭也

いろ 喪服

いろ 備戸喪の中

いと 若

いほ 麩

いほ 五百

いへ 家

いと 痛又甚

いり 市又

いぬ 懸

いさ 天

いさ 射

いり 鳥賊

いり 衣架又衣桁

いさ 伊豫

いぬ 板

いつ 何時

いづ 後成

いぬ 縮

いぬ 去下知の

いづ 伊豆

いぬ 幾

いま 今

いけ 池

いく 射手

いぬ 欲得いぬ

いさ 咄哉發語

いさ 不知

いき 行

いさ 率又素束

いと 忌

いさ 俗いさ

いぬ 夢

いひ 械

いひ 石

いひ 飯

いろ 沃いろ

いろ 禁色いろ

いろ 優いろ

三言

いろは 家母

いろは 四十七音の

いろは 家兄

いろは 原いろは

いと 河巖

いと 齋又祝

いと 石見

いと 岩

いそれ謂	いむえ晰	いほり庵	いとこ 従父兄弟	いとま暇
いとひ厭	いどむ挑	いとこ 弥甚き	いとま 忌服の忌	いちひ 赤檮杌
いちご 覆盆子	いちご一期	いちめ市女	いせと 煎海鼠	いふる 鮮鮓
いどめ 朧目	いまけ 鷹駁	いさけ 又あす	いそ 鯛	いぬお 乾
いかど 碓	いかど 怒	いかど 筏	いがご 鎔	いぐき 齋籬
いかし 嚴	いかし 如何又	いかに 貽貝	いかし 大のま	いかけ 汰懸地俗
いかに 唯菜大博	いかに 一向ひ	いかに 半	いやく 弥	いよを 伊豫屋敷
いかに 怒り	いかに 至	いさく 抱	いさお 板井	いびり 良揚か
いこし 痛	いこで 痛手	いこし ともれとあ	いこし 同ホト上位	いそぎ 急
いそひ 半	いそし 功熱	いそぢ 五十	いつて 五	いづと 泉出水
いづく 和泉	いづくも 出雲	いづくも 何	いづくも 何處	いつり 五日
いづくも 嚴笈	いつつき 林ふり	いつつき 齋	いつも 俗とけ	いあき 辞
いあぢ 因幡	いあり 稻荷	いあき 稻城	いあぞ 怒鳴の美	いあせ 舌諾
いあぢ 俗ふり	いあぢ 長か	いあぢ 豊	いあぢ 俗ふり	いあせ 補小蟹
いあぢ 忌免	いむぢ 甲地	いのち 命	いのり 齋	いあせ 軍
いぢら 兜鉄	いぢら 手串	いらい 獅子	いさそ 同ホト上位	いくら 俗小何
いやし 賤	いやぢ 漆	いまさ 未	いまし 松	いまし 在
いまし 今限	いまし 乃則の美	いけを 藪	いふと 蕪	いこひ 息
いふぢ 世思ふ	いふぢ 氣噴	いぢり 出羽	いでぬ 出居	いぢき 出来
いぢぢ 温泉	いぢぢ 吹	いぢぢ 勇	いぢぢ 諫	いぢぢ 吹熱
いぢぢ 漁	いぢぢ 哭	いぢぢ 勇魚	いぢぢ 諫	いぢぢ 吹熱
いぢぢ 壽	いぢぢ 忌す	いぢぢ 甚嚴の	いぢぢ 諫	いぢぢ 吹熱
いぢぢ 斬	いぢぢ 鑄物師	いぢぢ 齋	いぢぢ 疾毒	いぢぢ 吹熱
いぢぢ 以前	いぢぢ 石樋	いぢぢ 場	いぢぢ 熱俗	いぢぢ 吹熱

いひく 俗のイマ	いづろ 不審	いじし 隠し	いせり 懸橋	いひら 氣調
いさく 俗のイサ	いせま 出衆	いせま 出衆	いせま 出衆	いせま 出衆
いせま 浪火	いせま 半俗	いせま 十六夜	いせま 十六夜	いせま 十六夜
いせま 小井	いせま 聊	いせま 息出	いせま 息出	いせま 息出
いせま 御幸	いせま 齋	いせま 息出	いせま 息出	いせま 息出
いせま 胸のほとむ	いせま 息の短く	いせま 息觸	いせま 息觸	いせま 息觸
いせま 石階	いせま 石反	いせま 石古	いせま 石古	いせま 石古
いせま 親	いせま 礎	いせま 射目	いせま 射目	いせま 射目
		いせま 射目	いせま 射目	いせま 射目
		いせま 射目	いせま 射目	いせま 射目

五言

いひく 言葉	いひく 言葉	いひく 言葉	いひく 言葉	いひく 言葉
いひく 飯草魚	いひく 飯草魚	いひく 飯草魚	いひく 飯草魚	いひく 飯草魚
いひく 灼然	いひく 灼然	いひく 灼然	いひく 灼然	いひく 灼然
いひく 岩原	いひく 岩原	いひく 岩原	いひく 岩原	いひく 岩原
いひく 家刀主	いひく 家刀主	いひく 家刀主	いひく 家刀主	いひく 家刀主
いひく 妻	いひく 妻	いひく 妻	いひく 妻	いひく 妻
いひく 嚴捷	いひく 嚴捷	いひく 嚴捷	いひく 嚴捷	いひく 嚴捷
いひく 大防	いひく 大防	いひく 大防	いひく 大防	いひく 大防
いひく 推	いひく 推	いひく 推	いひく 推	いひく 推
いひく 羊躰	いひく 羊躰	いひく 羊躰	いひく 羊躰	いひく 羊躰
いひく 家丸	いひく 家丸	いひく 家丸	いひく 家丸	いひく 家丸
いひく 恩邊	いひく 恩邊	いひく 恩邊	いひく 恩邊	いひく 恩邊
いひく 天走	いひく 天走	いひく 天走	いひく 天走	いひく 天走
いひく 石帯	いひく 石帯	いひく 石帯	いひく 石帯	いひく 石帯
いひく 飯懸	いひく 飯懸	いひく 飯懸	いひく 飯懸	いひく 飯懸

いひく 伊賀	いひく 伊賀	いひく 伊賀	いひく 伊賀	いひく 伊賀
いひく 五ノ指	いひく 五ノ指	いひく 五ノ指	いひく 五ノ指	いひく 五ノ指
いひく 蛭蛭	いひく 蛭蛭	いひく 蛭蛭	いひく 蛭蛭	いひく 蛭蛭
いひく 再従父	いひく 再従父	いひく 再従父	いひく 再従父	いひく 再従父
いひく 兄弟	いひく 兄弟	いひく 兄弟	いひく 兄弟	いひく 兄弟
いひく 石畳	いひく 石畳	いひく 石畳	いひく 石畳	いひく 石畳
いひく 内子	いひく 内子	いひく 内子	いひく 内子	いひく 内子
いひく 流夫	いひく 流夫	いひく 流夫	いひく 流夫	いひく 流夫
いひく 木不替	いひく 木不替	いひく 木不替	いひく 木不替	いひく 木不替
いひく 座の名	いひく 座の名	いひく 座の名	いひく 座の名	いひく 座の名
いひく 印地	いひく 印地	いひく 印地	いひく 印地	いひく 印地
いひく 所座	いひく 所座	いひく 所座	いひく 所座	いひく 所座
いひく 俗云	いひく 俗云	いひく 俗云	いひく 俗云	いひく 俗云
いひく 流夫	いひく 流夫	いひく 流夫	いひく 流夫	いひく 流夫

六言

三言

まのと 草人
 まのま 翠
 まのま 殖生
 まのれ 俗と
 まのせ 針魚俗
 まのひ 羽交
 まのへ 層
 まのへ 三重
 まのふ 初穂
 まのせ 唐棣花
 まのひ 拂
 まのへ 枝
 まのう 俗と判言
 まのめ 始
 まのき 彈
 まのひや 塚
 まのひや 屋多
 まのひや 輸入
 まのく 漸俗
 まのやと 法度
 まのふ 白粉
 まのわ 埴輪
 まのじ 勝不
 まのぢ 拍子
 まのえ 齋枝
 まのひや 鳴笛
 まのう 八辨
 まのか 埒
 まのさ 病者
 まのえ 延枝

四言

まいたり 鷓
 まのま 掃墓
 まのせ 階膳
 まのう 蠅虎
 まののこ 胆虫
 まのひ 計
 まのう 葬
 まのひの 白癩
 まのの 虫
 まのふ 匪
 まのわ 薑
 まのの 走井
 まのわを 半月
 まのひ 葡萄
 まのひ 牛糞
 まのう 牛糞
 まのひ 腹帯
 まのわ 方角
 まのえ 頭萩
 まのう 早雄
 まのう 半額
 まのひ 足車
 まのわ 斑満
 まのわん 放虎
 まのう 炮烙
 まのう 物
 まのだ 脛槍
 まのう 剋瘡
 まのひ 抱弓
 まのたい 傍頭
 まのひの 拜礼
 まのとう 祭朝
 まのとみ 半部
 まのう 人 腹敗
 まのえ 草名
 まのう 人 方便
 まのた 報答
 まのえ 芭蕉

五言

まのひ 白拂
 まのひ 促織
 まのう 繁昌
 まのわ 百和
 まのの 大角
 まのう 方丈
 まのう 庖丁
 まのう 判官
 まのう 鑲花
 まのわ 葉萩
 まのう 花鬘
 まのう 花柑
 まのえ 花宴
 まのう 傍官
 まのう 俗と判言
 まのう 俗と判言

六言

まのう 密
 まのう 放生
 まのう 俳諧
 まのう 歌
 まのう 放鷹樂
 まのう 食調内

七言

まのう 權衡
 まのう 外盤
 まのう 男
 まのう 後母
 まのう 斑屋

八言

わがこのおほむら 外祖父

まゝんのおむら 賣炭翁

九言

なむかこのおほむら 從舅

仁之部

通爾你二仁身而用貳尼柔兒 音也 煮丹荷似訓也

二言

わえ 庭

わえ 場道場の場

わえ 海苔のとも

わえ 鳩

わえ 贅

わえ 首

わト 如

三言

わいハ 濼

わいハ 俄

わいハ 餘光

わいハ 香

わいハ 膠

わかい 二階 棚

わかい 荷

わかい 呻吟

わかい 躑

わかい 似合

わあハ 如意

わあハ 新葉

わせヒ 似畫 俗字

四言

わきハ 葉 獸物

わきハ 豚

わきハ 新嘗會

わきハ 入梅

わきハ 和榜

わえハ 雞

わえハ 如意輪

わえハ 女人

わえハ 如法

俗字モトヨリイ子デモ

にあハ 女郎

わのまハ 二の舞

まのありわのまハくわのまハ人ハ

五言

わしハ 濼

わしハ 雞

わしハ 鏡

わしハ 朱櫻

わしハ 女房

わしハ 女院

わえハ 鶴鶴

わえハ 女郎當

わえハ 人長

俗字のまのまの

わしハ 新泰

六言

わしハ 庭訓

わしハ 鶴鶴

わしハ 毒言

わしハ 女官

保之部

富本善番蕃品褒寶朋費報哀保抱方奉音也凡煩
乏濁音也 太帆穗日訓也

二言

わい 小意 わい 布衣狩袴 わえ 吠

三言

わうい 布衣わと ざうい 善提 わづえ 上枝 がんし 梵字 わうく 反故
又わふこ
わじ 法師 わす下 法事 わきあ 山道のあ ざんえ 徳来 わひ 捕

わのほ 端 わんい 本意 わいら 燈燵

四言

わいば 無本意 くらうらうら
とぬぬら
わんたい 本件わく 本来の
種性のもをわく
わんえい 本意 本才
わうあ 捧物 わふらん 經文と
わうそう 鳳凰 わうい 蓬萊 わあぐ 法華
わんえい 本意 本宮
わんそう 凡情 ざんえう 煩悩 ざんごう
わふそう 法皇 わうたん 牡丹 ざんぐ
わあらん 經文と せひ 捕 わうご 外人
わうそう 鳳凰 わうい 蓬萊 わあぐ 法華

五言

わんえい 本意 俗小字にまきと
わんえい のまきと
わんえい 法華經
わんえい 法華經

六言

わんえい 細冠者 かんえい 法華經

邊之部

肇開平反返敵蔽弊篇遍霸陛珮背沛杯鞞邊音也
便辨別倍濁音也 獲陸重經家戸部訓也

二言

へい屏 へい帯 へいべきと音便 へと捉借 へう天子一軍 表とひふ

三言

へいし鏡子 べたう別當 へつひ竈 へじ襦袢 へうと標祖

四言

へいたん餅飯 へいまん屏幔 へつひ給 へとちへ字の へんせう通昭 人名

へうたん飢事 へんごゑ変化 べちぢふ別納

五言

へいぢめん屏重 へいぢまう平倭 へいぢのハ豹皮 へいぢあう陪後 地下の隼人を

止之部

登斗刀等土苔觀鄧藤得德渡妬屠東音也杜圖行 奴弩怒特迺耐度滕騰濁音也 跡常十鳥飛止迹砥 利礪外訓也

二言

とん常盤 とち閉門 とも儼多老老 とう疾之の音 とう頭かのかことり とう荷又大の とう製おのまゝ とう向又訪 とを十 とトの自解女の とうつとらふ

三言

とほし遠 とほを通 ともぬ雜栖 とをく撓 とおへ唱

とらへ捕 とのぬ宿直 とひと籠 ともゑ鞆槽 とらじ冬至

とらふ豆腐 とくい得意 とまひ誼 とだえ磯徳の ともめ結目の

とのへ外重 とうろ燈籠 とづき今いふ届

四言

とのひ調 とのひ鳥回 ともひ語 とこと常盤 としての年猪 ともつお縄 とまひ伴 ともかひ速射 としへ長 とドキみ聞 ともぢぐく非時 ともぢ燈心 とうぐう東宮 とうさん銅蓋 ともぢり十依たて

とつら 取捨作 とんぢき 也食 とのど 伴猪 とらまん 等倫人 とらだい 燈臺
とらまん 等身 仏像を著のふとをひやく

五言

とら 高麗父 とら 海を滞 とら あまを 關難 とら 不取敢 とら 入 び 因 く
とら い 変 長 とら 鮮明 とら の 諧 とら 時 社 とら とき 奏 時

とら た 常 著 堅 難

六言

とら あ 連 江 とら 常 著 堅 難

七言 八言

とら た 花 花 とら ぎ へ ど 難 難

知之部

知智池 馳陳推致恥 撤答 音也 進治地 尼旒泥 塗賦 二濁音也 市乳千血 訓也

一言

ぢ 持勝負 ぢ 寿 ぢ 社

二言

ち い 釣 注法也 ち へ 十 重 ち え 十 枝 ぢ 一 等 橋の家 ぢ も 收 費

三言

ち う ひ 世 ち の と 兼 論 ち お も 乳 母 ち だ う 馳 道

ぢ り く 除 目

四言

ち の ひ 山 塵 土 ち の ぎ 陣 屋 ち う ぼ ひ 俗 小 ぢ

五言 六言

ち の ぢ い 中 向 ち ひ ち の ぢ の 神

七言

多ふ道長本送使

あまのたふ 懶婦人喪冠也

あまのまのり 道餐也

利之部

理利喇梨 黎里離隣 麗音也

三言 四言

ふんふ 論曰

ふんふ料葉小定 ふうた音

五言 七言

ふんふ律令 ふうた音 ふうた音

奴之部

奴怒濃努 努農音也 沼寐訓也

二言

ぬえ 馮

ぬト如又中 ぬひ進

三言

ぬふえ 葦

ぬふひ武又中 ぬふえ蘇

四言

ぬふき 額突

ぬひの緒

留之部

琉流留溜 類累盧蘆屢樓魯

るわ 類

乎之部

哀遠乎呼 弘烏嗚怨越叫恍廻惡音也 陽男夫士丁

雄牡尾小 少緒絃麻苧峯岑岡丘侵矣訓也

一言

と 應對辭

二言

どい 對應科	どい 叔母	どい 英	どい 山口	どい 収入
どい 芝翁	どい 速	どい 老翁のやうなびりやうなやうなやうな	どい 去甚堂	
どい 居	どい 折	どい 唯々 應對科	どい 周	どい 小山
どい 類	どい 嘘	どい 芥	どい 小野	どい 麻呂
どい 桐	どい 湯巾	どい 長	どい 葎	どい 萩
どい 鴛鴦	どい 食	どい 愛	どい 甥	どい 譯語
どい 牡馬	どい 丸	どい 司 俗子 國を	どい 招請	

三十一

どい 蛇	どい 尾張	どい 尾花	どい 終	どい 男
どい 小女	どい 雄	どい 雉鳥	どい 踊	どい 可成
どい 絆	どい 花	どい 小笠	どい 現又	どい 奉上
どい 童男	どい 小峠	どい 雨止	どい 大 俗子	どい 櫻
どい 鞆	どい 專領	どい 鬼又	どい 白糸	どい 治
どい 仙	どい 小藤	どい 女	どい 惜	どい 教
どい 小嶋	どい 雄鹿	どい 折敷	どい 生株	どい 靴
どい 雄界	どい 雄鹿	どい 招餌	どい 騎乗 雄鹿	どい 生指

四言

どい 社 小鏡	どい 叫 又 又	どい 根 食 又	どい 頂 又 又	どい 袖 又 又
どい 四言	どい 前年	どい 前日	どい 折敷	
どい 除く	どい 彼岸	どい 折節	どい 麻呂	どい 雑語
どい 除く	どい 妻	どい 女子	どい 小田	どい 芥柄
どい 除く	どい 小車	どい 腫	どい 小山田	どい 人 又 又
どい 推	どい 又 又	どい 草	どい 食 又 又	どい 時 延
どい 牡	どい 誘	どい 攝	どい 毒	どい 招 索

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

五言

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

六言

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

九言

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

和之部

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

三言

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

四言

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

五言

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

六言

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

七言

和丸倭王宛 音也 回轉廻輪訓也

よしののちのなる 和奇體體

よのきしちのん 俗ワカニミヤ
スビリナキト

加之部

加迦訶甲可伽何寄架嘉河荷珂柯軻歌甘間箇介
汗柯音也 賀何我俄蛾峨餓鵝雅濁音也 鹿攻杏日
訓也

二言

かい 擢舟具 かい 刺す白也 かい 山梨 かも 川 かし 獲者之丸
かへ 栢 かへ 櫃子 かし 穢舟具 かし 穀 木葛木

かし 獲人 かし 替 かし 貝 かし 蝮 かし 吠 山間
かひ 類 かし 穀 知り下 かし 思 かし 甲斐國名 かし 銅
かひ 賈 かし 敷 かし 發 かし 鳥声

三言

かき 黃草 かし 肌 かし 皮 簍 かし 水 菖 かし 蛙
かえり 文 かし 扇 かし 瓦 かし 川原 かし 香
かえり 川曲 かし 扇類 かし 鴨 かし 占 蛙 かし 婦
かへで 雜冠木 かへる 鴨 かし 耕 かし 假 房 かし 煮

かき 乾 かし 耀 歌 かし 通 かし 殘 藤 葉 かし 上
かえり 傍 かし 夕 引 かし 見 かし 片 掛 之 志
かき 敷 かし 堅 魚 かし 潜 かし 鐵 輪 かし 奏 曲
かき 鬘 かし 鳥 かし 首 かし 高 欄 かし 更 衣
かき 勤 事 俗小セツカニシ
ニカレシヨク
かき 甘 橋 俗 かし 高 陽 院 かし 高 家 かし 合 手 かし 合 熱 湯
かき 庚 かし 構 かし 河 内 かし 俗 多 岐 川 入 之 下 あり
かし 圓 かし 擗 かし 紙 画 かし 卵 かし 蠶

かひか 脈 かひえ 鴨柄 かうた 寄居 かろし 蕪子 かじま 光組
 かどき 構 又うんぶきともいふ此國也 かたわ 考調 まふゆえにこの國を治る者

四言

かひち 典論 諸司の下より かひち 垣代 かひま 但前見 かひち 馬書
甲斐の者 かひち 角豆 かひち 骨達 かひち 土歌
 かひち 河傍 かひち 皮苗 かひち 可受 かひち 物の言 かひち 白花
 かひち 果馬 かひち 復縁 かひち 考又塵 かひち 遊 かひち 語
 かひち 片紙 かひち 紙 かひち 紙 かひち 紙 かひち 紙

かひち 兵藍 かひち 冠 かひち 蒙 かひち 髪 かひち 髪 かひち 俗カマカ
 かんだら 勘當 かひち 麴俗 かひち 隠 かひち 隠 かひち 馨 かひち 陽炎
 かげろふ 晴蛉 かひち 卒頓 かひち 舳舟不 かひち 鹿文 かひち 鏡
 かひち 霹靂 かひち 夾傾 かひち 標子 かひち 籠 かひち 海棠
 かひち 膳夫 かひち 無甲斐 かひち 傅 かひち 神主 かひち 告文
 かひち 嘉祥 又嘉定ともいふ かひち 片生 又くちりともいふ かひち 警書
 かひち 拍梨 仏名の教傳ふも かひち 海石 かひち 拾動 かひち 如此儀
 かひち 新製 かひち 願 かひち 願 かひち 願 かひち 願

五言

かひち 刺草 かひち 草 かひち 河伯 かひち 水揚 かひち 蝶
 かひち 兼 かひち 願 かひち 擲側 かひち 軟掌 かひち 高祖
 かひち 蝸牛 かひち 方違 かひち 擲側 かひち 軟掌 かひち 高祖
 かひち 拈 かひち 方違 かひち 貝履 かひち 貝履 かひち 撥燃
 かひち 撥燃 かひち 拈 かひち 定考 かひち 定考 かひち 長
 かひち 脚病 かひち 改元 かひち 運仕

六言

かいつくしの物件をさす也 菊又かきくをさす
 かへりまじり 養 かさすゆか 春 かひわをさす 軒下
 おせりうり 堅魚 かんかきり 養筋作
 火りゆき 遊養

七言

かきくゆき 養 かんびやくま 養 かのむをさす 願

與之部

余用與豫餘容欲譽庸遙音也 齒四世夜代節訓也

二言

よひえ 夜 よぢ 攀 よひ 宵 よぬ 夜居 よい 夜寐

三言

よまひ 映 よまひ 映 よまひ 結替 よろひ 鑑 よろひ 備り足
 よろひ 萬 よまひ 節折 よまひ 弱 よろひ 夜川鑑 川よひ 備り足
 よろひ 四十 よまひ 准 よろひ 黄泉 よろひ 針魚俗 備り足
 よろひ 用意

四言

よまひ 連進 よまひ 粧 よまひ 連生 よまひ 四依 肥 備り足 備り足
 よまひ 連進

かきくゆき 養

五言

よまひ 連星 よまひ くり 養 よまひ 言哉 よまひ ぼひ 悦 備り足 備り足

太

多當他哆丹陀稍黨囊儻太音也 陀駄娜 濁音也 田手 訓也

二言

たい 題 たへ 榜 機物也 たへ 巻 たへ 妙 たへ 鴨
 たへ 髪 髪を披ふたてたりと云ふ也 髪を披ふたてたりと云ふ也
 たへ 絶 たひ 綱 たひ 柄 借字

三言

たひし 絶考志 なほれ 巻
 たひま 但馬 たひえ 立枝
 たひし 花 たひま 上り下り
 たひき 便り たひひ 手體
 たひひ 類 たひん 此
 たひげ 義 たひひ 平
 たひひ 田信 たひし 依
 たひし 舟渡 たひん 譽
 たひる 起居 たひり 手折
 たひひ 連 たひひ 互
 たひえ 手離 たひえ 道理
 たまひ 歐正 たまひ 賜
 たひひ 毒 たひひ 糶輕
 たひす 天元 たいめ 對面
 たいめ 對面 たひら 大郎
 たひひ 假令 たひひ 假令

四言

たひとこ 大徳 たひとく 大曲 琴のり
 たひれ 賦 たひれ 作割
 たひし 十業 たひし 月ト
 たひひ 戰 たひひ 漂
 たひのき 大類 たひん 勢
 たひし 魂 たひのき 三章
 たひし 貴 たひひ 海頭
 たひや 兼佃 たひのき 手状
 たいま 松明 たいま 大衆
 たひと 謙言 たひと 婦人
 たひく 日上 たひく 筆
 たひは 他偏 たひら 直人
 たひも 手端 たひのき 手巾
 たひのき 玉錯 たひのき 側
 たいま 大衆 たいま 大悲者
 たひと 婦人 たひと 柳柳
 たひく 筆 たひく 筆
 たひら 直人 たひら 山今
 たひのき 手巾 たひのき 財
 たひのき 側 たひのき 柳

五言

たいし 老様 たいし 老様
 たひのき 兼佃 たひのき 兼佃
 たひのき 兼佃 たひのき 兼佃
 たひのき 兼佃 たひのき 兼佃
 たいし 大衆 たいし 大衆
 たいま 立枝 たいま 立枝
 たいのき 兼佃 たいのき 兼佃
 たいのき 兼佃 たいのき 兼佃
 たいのき 兼佃 たいのき 兼佃
 たいのき 兼佃 たいのき 兼佃

六言

とて... 衣道... 葉末立のま

とまのたがひ 諸禽鷹養の美り也

川之部

都通追鬼菟鬪屠音也逗豆途圖徒頭蜀音也川津訓也

二言

つた石落 草 つた杖 ブー 角子

三言

いで次又序 つら 膠 つひ 集 つひ 使 つひ 仕

つらひ番 つら 傳 つら 跡囃 つら 筒井 つら 玄孫 連子

つら 牛の毛 つら 札 つら 終又送 つら 元貴 つら おとが

つら 鼓 つら 續 つら 杖 つら 華尾俗 つら 粟

つら な 連難

四言

つら み 豚 つら 葉端 つら 日工 つら 明 つら 衝立

つら の 兵 つら の 戎 つら の 遣 つら の 無 つら の 賦

つら の 多 彩色 つら の 誅 つら の 越 つら の 約 つら の 柱礎 二云

つら の つ 續松 つら の 纏頭衣 つら の 追使

五言

つら の 九折 つら の 色 つら の 草 つら の 鱗 つら の 鱗 つら の 鱗

つら の ば き 彈指

六言

つら の の び と 客 作兒 つら の び と 胸 案通 短也

祢之部

泥尼禰年佞遜涅然音也本根莫子音寢訓也

二言

ねぢ 鉄鑄 鐵道の具 ねぢ 捻

ねえ 埴 結土也

三言

ねぢひ 頭 ねぢひ 同族 ねぢと 鼠 ねこト 通 ねぢと 念珠

四言

ねぢを 根尊 ねぢひ 慰勞 ねぢを 鼠 鼠鳴 ねぢく 猫の ねぢく 年星
ねぢひ 寝惚

五言 六言

ねぢひと 接 ねぢひと 鼠走 門框之 横梁也 ねぢひと 兎 孫子

七言

ねぢと ねぢの き 枕 ねぢと げの ま 驛馬

奈之部

那奈南難 儼娜乃男 音也 名字七去 菜魚莫訓也

二言

なを 繩 なる 苗 なる 稻 なる 地 栗 なる 葦

三言

ない 内 傳 なる と 喉 なる と 難 波 なる と 直 衣 なる と 職
な の き 腦 なる き 喉 割 なる き 名 壽 なる か 芥 なる と 煩
なる ひ 習 なる ひ 汝 なる の 船 なる の 洋 酒 なる の 何 ぞ
なる と 詰 なる き 寒 なる り 名 折 條 なる と 中 重 外 重 なる と 直
なる と 歌 なる と 曲 なる と 曲 なる と 蚌 蟬 なる と 名 鰯 魚 なる と 内
なる と 直 會 なる と 等 雨 なる と 生 業 なる と 媒 なる と 存 命
なる と 追 儼 なる と 慈 生 強 なる と 蜘蛛 なる と 准 なる と 准

四言

なる と 歌 なる と 曲 なる と 曲 なる と 蚌 蟬 なる と 名 鰯 魚 なる と 内
なる と 直 會 なる と 等 雨 なる と 生 業 なる と 媒 なる と 存 命
なる と 追 儼 なる と 慈 生 強 なる と 蜘蛛 なる と 准 なる と 准

なほさひ なほさひ なつさひ なつさひ なほひ なほひ なほひと直入 なほひと直入 なほえん なほえん 内宴

なほいへん なほいへん 内井 内井 なほふふ なほふふ 名負 名負 なえふ なえふ 名負 名負 なりく なりく 名負 名負

五言 六言

なほか なほか 名負 名負 なほく なほく 名負 名負 なほも なほも 名負 名負 なだい なだい 名詞 名詞 なけ なけ 名詞 名詞

七言 八言

なほより なほより なほを なほを 鳴鳥合 鳴鳥合 なほか なほか 名負 名負 なほひ なほひ 中井

良之部

羅良浪囉 邏邏樂朗落 音也 荒浦卜等 訓也

二言 三音

らう らう 勞 勞 らい らい 礼 礼 らい らい 酒器 酒器 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞

四言

らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞

らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞

五言

らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞 らう らう 勞 勞

武之部

牟武无謀 鷓鴣 勢 霧 夢 音也 六訓也 牛鳴 二音

三言

む む 向 向 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎

む む 向 向 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎

四言

む む 向 向 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎

五言

む む 向 向 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎 む む 迎 迎

宇之部
宇汗于紆 烏有雲 禹羽音也 諾得卯兔 倦訓也

二言

うへ上
うへ釜
うぢ姓又氏
うぢ宇治
うぢ山城郡名
うぢ魚

うづ濁水廻こ
うづ珍
うづ蛸虫
うぢ種
うぢ胤

うひ初
うぢ鬚草
うぢ雲珠
うぢ鞍馬具

三言

うま後夫 うまう 前
うまひ 奪
うぢを 團扇
うぢを 鴨川

うぢひ 鴨飼
うぢを 訴
うぢひ 歌
うぢを 歌画
うぢへ 憂

うづう 鴨
うづを 疎
うづを 空
うづを 埋
うぢを 鬚髮

うづを 剛卯杖
うぢを 項
うぢを 鴨籠
うぢを 浦曲
うぢを 卜定

うしや 潮

四言

うまを 後妻
うまを 社本前
うまを 敷袴
うぢを 打延
うぢを 美

うぢを 潤
うぢを 鏡
うぢを 疑
うぢを 諾
うぢを 後

うづを 打堪
うぢを 童子
うぢを 領狀
うぢを 卜
うぢを 寫

うぢを 恭
うまを 馬把
うぢを 夫
うぢを 薄氷
うぢを 共也

うまを 番息

五言

うまを 禰
うぢを 上天
うぢを 袍
うぢを 器
うぢを 躑

うぢを 實貝
うぢを 腰
うぢを 馬鬣
うぢを 集
うぢを 躑

六言

うぢを 不
うぢを 海老
うぢを 中
うぢを 産養

七言 八言 九言

うまのぬひ貴うまひのつと 雅楽寮

うまなぬつと 刑部省

為之部

韋為委萎位威偉涓謂音也井居座處猪彘豕亥蘭率
藍訓也

二言

ぬど井戸 ぬる機 形著汝 不行也

三言

ぬづく井筒 ぬなる田舎 ぬのと取 ぬらひ ぬらひぬらひぬらひぬらひ

四言

ぬゆを蛸 ぬやび礼 ぬ移う田後 ぬろり田が裏 ぬかき蘭茎

五言

ぬのた亥時 ぬさひ鬢 ぬのじ 織襖 機之卷 縮者也 ぬのち 山猪

ぬやう 蘘かき ぬやう たて

六言

ぬえん 蘭金 ぬんや 掩韻 ぬま 居待月

乃之部

能乃迺音也笑莞之野訓也

三言

のろひ 咒咀 ぬん 延をりて のむひ 野飼 ぬらち 埽 ぬごひ 拭

のらん 亂をりて のせう 若茂

四言 五言

のこまひ 旨 のいさ 肉刺 脚指間生肉刺由著 靴小相踏而所生也 のむと ぞえ 叱

於之部

於意隱於億飲憶し應礮音也大忍訓也

二言

かい老	かた祖母	かぶ鬼	か母大	かと音
かとし	かち落	かち祖父	かち忙怕	かれ爾
かそ痴鈍	かく奥	かや親	かふ白貝	かひ生
かき澳人沖	かき息又	かき隠以回名	かき起	かき置
かし怒	かし押	かひ帯	かひ負	かひ世
かひ母	かみ臣	かみ使主人名 又姓	かみ鼠奪 織具	かて海藻
かひ髪	かひ髪と髪と 髪と髪と	かれ愚		

三言

かいく夫	かろし申	かろし下	かろし愚	かろし我高
かあ犬隣	かやし多	かやし大黃	か四ち祖父	か四の亮
かやの蘿蔔	かやと條鷹具	かやと輜車會 木	かやひ糞	かやち大路
かやえ覚	かやと太神 禰明 神名	かよと臣	かよと殿	かよと弟
かとり猴	かとり劣	かとり怖威	かよと鐵部	かかよ龍 河風 神
かよのな老女	かよび指	かよび及	かよと凡	かよき泳
かよひ穂と直	かよし日上	かれら我等	かよし運	かよし 三言
かよひ襲	かよと日	かよひ叫	かよね 子言と よ	かよけ 三言
かよと し子俗 まあま ま	かよと己	かよと晚指	かより贈	かよれ後
かよし御座	かよし瘡症	かよと命	かよと遣	かよと翁
かよひ熾	かよと捉	かよと面	かよし重	かよひ思
かよひ親の巻	かよひ篤疾	かよと御許 御許 名	かよと押	かよれ悉
かよひえ愕然	かよれ雨	かよと姫	かよと 鶴若 重	かよろ腫
かよし 全生 ま	かよと首姓	かよと附短	かよと と月ト	かよら 井文の ま
かより 御農 食	かろし 餘 食	かよの御膳	かよと 襲衣 谷 子 ウ ギ	

かい老	かた祖母	かぶ鬼	か母大	かと音
かとし	かち落	かち祖父	かち忙怕	かれ爾
かそ痴鈍	かく奥	かや親	かふ白貝	かひ生
かき澳人沖	かき息又	かき隠以回名	かき起	かき置
かし怒	かし押	かひ帯	かひ負	かひ世
かひ母	かみ臣	かみ使主人名 又姓	かみ鼠奪 織具	かて海藻
かひ髪	かひ髪と髪と 髪と髪と	かれ愚		
かいく夫	かろし申	かろし下	かろし愚	かろし我高
かあ犬隣	かやし多	かやし大黃	か四ち祖父	か四の亮
かやの蘿蔔	かやと條鷹具	かやと輜車會 木	かやひ糞	かやち大路
かやえ覚	かやと太神 禰明 神名	かよと臣	かよと殿	かよと弟
かとり猴	かとり劣	かとり怖威	かよと鐵部	かかよ龍 河風 神
かよのな老女	かよび指	かよび及	かよと凡	かよき泳
かよひ穂と直	かよし日上	かれら我等	かよし運	かよし 三言
かよひ襲	かよと日	かよひ叫	かよね 子言と よ	かよけ 三言
かよと し子俗 まあま ま	かよと己	かよと晚指	かより贈	かよれ後
かよし御座	かよし瘡症	かよと命	かよと遣	かよと翁
かよひ熾	かよと捉	かよと面	かよし重	かよひ思
かよひ親の巻	かよひ篤疾	かよと御許 御許 名	かよと押	かよれ悉
かよひえ愕然	かよれ雨	かよと姫	かよと 鶴若 重	かよろ腫
かよし 全生 ま	かよと首姓	かよと附短	かよと と月ト	かよら 井文の ま
かより 御農 食	かろし 餘 食	かよの御膳	かよと 襲衣 谷 子 ウ ギ	

四言

おいらけ 綾	おいらろ 大和	おいらそ 疎	おいらま 櫛	おいらん 虎
おいらう 肌	おいらと 大鹿	おいらん 人の人の	おいらん 下とりの	おいらん 大鹿
おいらり 日	おいらど 日上	おいられ 蟹のまの	おいらん けし	おいらん 泥土
おいらん 御體	おいらを 曾祖母	おいられ 從母	おいらめ 奴婢	おいらり 鶴
おいらん 狼	おいらを 藥	おいらん 洪鐘	おいらん 柳	おいらん 琴
おいらん 舊帽	おいらを 車前	おいらん 公	おいらん 大蒜	おいらん 葦
おいらん 杜若	おいらけ 臍氣	おいらん 惘然	おいらん 性燥	おいらん 阿奴
おいらん 牙	おいらん 身帯	おいらん 領	おいらん 音聲	おいらん 鶯
おいらん 衰	おいらん 綺	おいらん 笠	おいらん 長	おいらん 鹿
おいらん 穂	おいらん 蟬	おいらん 鷹	おいらん 長	おいらん 鹿
おいらん 愚者	おいらん 各	おいらん 墓	おいらん 決期	おいらん 行
おいらん 忘	おいらん 賒	おいらん 補	おいらん 佩	おいらん 鞍
おいらん 重	おいらん 趣	おいらん 阿容	おいらん 澤河	おいらん 所思
おいらん 謙	おいらん 趣	おいらん 面持	おいらん 俗	おいらん 愚
おいらん 又	おいらん 又	おいらん 又	おいらん 又	おいらん 又

五言

おいらん 大和	おいらん 涙	おいらん 御座	おいらん 曾祖母	おいらん 櫛
おいらん 無負	おいらん 粗粒	おいらん 葉子	おいらん 俗火	おいらん 白頭
おいらん 兒	おいらん 面白	おいらん 面替	おいらん 唱	おいらん 護
おいらん 鶯	おいらん 追離	おいらん 隙	おいらん 錯	おいらん 大鹿
おいらん 鹿	おいらん 鹿	おいらん 鹿	おいらん 鹿	おいらん 鹿

六言

くらむく 養護のくをくらむくといふ くらむく 俗小ナアノくをくらむくといふ
 くらむく 狂 くらむく 俗小ナアノくをくらむくといふ
 くらむく 蔵人 くらむく 無膽 くらむく 種をくらむくといふ
 くらむく 打惜の くらむく 花足 くらむく 源氏 くらむく 草

五言

くらむく 粟刺 くらむく 興葉 くらむく 蔵 くらむく 鑿 くらむく 無
 くらむく 野新 くらむく 小角 くらむく 蕪衣 くらむく 春属 くらむく 養
 六言七言

くらむくのまの 車輪 くらむくのまの 草色 くらむくのまの 又くらむくのまの くらむくのまの くらむくのまの

也之部

夜也耶挪 挪耶揚野 野野移養 音也屋 八夫彌 訓也

二言 三言

やむ 八百 やむ 八重 やむ 又 やむ 又 又 又
 やむ 八幡 やむ 八座 又 又 又 又 又 又 又 又
 やむ 八天 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
 やむ 八方

四言

やむ 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
 やむ 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
 やむ 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
 やむ 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又

五言 六言 七言 八言

やむ 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
 やむ 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
 やむ 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
 やむ 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又 又

末之部

麻摩末萬滿馬麼磨縻縻莽音也信真間訓也

二言

まい 烏牛 まいくま 豺くま 豺くま 豺くま 豺くま まへ 前 まづ 先

まう 猛たけぐさ 猛たけぐさ まい 舞 まい 幣

三言

ませい 回 まるぬ 圓座 まいひ 纏 まいひ 惹 まいひ 同遠

ませい 中 まいひ 躑不逞 まいひ 給相賜 まいひ 迷 まいひ 戲僧戲

まうい 貧 まうい 誦 まうけ 儲又誤 まあひ 參 まいひ 時時

まうい 視 まうい 交 まいひ 眼皮 まあひ 眼いませ まいひ 美美

四言

まわひ 賄 まわひ 腫順 まあひ 眼皮 まあひ 眼 まあひ 眼

まわひ 客 まあひ 眼 みたき 目目 まあひ 眼 みたき 目目

まわひ 丈夫 まあひ 眼 みたき 目目 まあひ 眼 みたき 目目

まわひ 益 まあひ 眼 みたき 目目 まあひ 眼 みたき 目目

五言六言七言十言

まうのり 昇殿 まあひ 眼 みたき 目目 まあひ 眼 みたき 目目

まあひ 眼 みたき 目目 まあひ 眼 みたき 目目 まあひ 眼 みたき 目目

計之部

氣邪計介家化美難谿迦價誓希啓開階戒該潔既
結盖音也夏解下牙尋偈宜擬礙覓凱愷皚雅慨濁音也

毛苟異日訓也

二言

けい 磬 けい 今日 けい 狹布 隆奧磬

三言

けり 家司 けり 氣くひ けに 喰 けぢめ 差別 けろ 梳鬘 けろ 梳鬘
けり 削 けりふ 下脩 けきう 懸想 けきう 鏡粧 けんと 舖食 けんと 舖食
けつげ 毛月馬よみたるもとの けきう 頭證 けきう 頭證

四言

けいせい 傾城 けいせい 傾城 けがひ 汗穢 けいせい 汗穢 けいじ 氣味 けいじ 氣味 けいたう 敬道 けいたう 敬道 けいせ 結縁 けいせ 結縁
けのく 権の巻 けのく 権の巻 けびの 檢非 けびの 檢非 けんげう 檢校 けんげう 檢校 けうきう 尋養 けうきう 尋養
けいめい 徑營 けいめい 徑營 けいめい 腸息 けいめい 腸息

五言

けふまう 華洋倭 けふまう 華洋倭 げぎやう 現形 げぎやう 現形

不之部

布賦不否 副扶負敷 浮甫府符 赴分浦 音也 夫服父矛 步霧鷺部 濁音也 歷經訓也 蜂音 二字

二言

ふい 不意 ふい 不意 ふえ 不破 ふえ 不破 ぶら 藤 ぶら 藤 ぶえ 笛 ぶえ 笛 ぶら 薑士 ぶら 薑士

三言

ぶぢな 蒲公草 ぶぢな 蒲公草 ぶら 藁 ぶら 藁 ぶらう 不幸 ぶらう 不幸 ぶたう 舞臺 ぶたう 舞臺
ぶづね 又杖 ぶづね 又杖 ぶのう 不能 ぶのう 不能 ぶけう 不孝 ぶけう 不孝 ぶけい 吹飯 ぶけい 吹飯 ぶくう 不講 ぶくう 不講
ぶをひ 群 ぶをひ 群 ぶをひ 卧猪 ぶをひ 卧猪 ぶをく 粉熟 ぶをく 粉熟 ぶよう 不用 ぶよう 不用 ぶさう 不説 ぶさう 不説
ぶりえ 振延 ぶりえ 振延 ぶらひ 本止 ぶらひ 本止 ぶらう 俗と曰物のおとく ぶらう 俗と曰物のおとく ぶらひ 膳 ぶらひ 膳
ぶくた 龍籠 ぶくた 龍籠 ぶくた 鼻 ぶくた 鼻 ぶきん 輔養 ぶきん 輔養 ぶらう 豚捕魚 ぶらう 豚捕魚 ぶらう 風箱 ぶらう 風箱

五言 六言

ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙
ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙 ぶらう 籙

古之部

許古故胡高去己枯姑枯居固孤庫巨莖渠舉虛據興
顧黑沾音也暮其吳誤五吾語後凝暮期虞御馭音也
籠粉兒木子小來童訓也

二言

あぬ木居 齋のりへ あえ越 あえ肥 あゑ菁 あひ鯉
あひ恣 あひ癒足病 あひ乞 あひ喉痺 あふ鶉
あふ甲 あト巾子 冠のまゝにふくむまを

三言

あそー強 あわ温松 淡類 あわり水 おわり郡 あとひ持半
あとの等柱 あよひ今夜 あとへ答 おうい五戒 あとへ豚
あがえ寒 おえふ五禁 秘小 あとふ胡蝶 あひぢ泥粉まの 糞 あせ急積
あごら微道 あまづ白飲 あぶの鰓 魚中 あつせ乾魚 あると田
あがひ養蚕 あづと木積 木糞 俗小 あのみ近衛

四言

あつら頃 あそひ硬飯 あつ受敷の 声あり あつら蜻蛉 あとのぞ遊
あつら理 あつら木傳 あつら高麗 あつら九重内裡 あつら心符
あつら兄公 天原第 あつら李相 あつら紅梅 あつら詩 あつら徳のこ
あつら大語 あつら不懲 天助梓 佐藤の浦より あつら和音

五言

あつら更衣 あつら業障 あつら心映 あつら女
あつら希 あつら款 あつら若反 花と再 あつら天坊城
あつら今上

六言 八言

ふとぎづみ 相模 あつゆくろ 後赤殿

あろあろひ 有意 あろひハ知ん 心合凡 凡の者くとわりの あろあろひのむせ 心合凡 凡の者くとわりの

江之部

延愛衣要曳依 殿哀埃裔音也 兄荏江 擅技柄柯得吉 善訓也 可愛 二言

二言

えい 曳 袈語 えい 詠 えふ 縁 えふ 襟 えい 襟 えい 袈 えい 袈 えい 詠 えい 詠 えい 詠

三言

えい 一 烏 鴨 えい 一 烏 鴨 えつ 一 蓋 籠 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪

四言

えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪

五言 六言

えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪

天之部

皇天帝 低庭 諦提堤 弟氏底 促音也 傳願代 題田泥 湮涅耐 濁音也 手訓也

二言 三言

えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪 えい 一 襪

アハシト 助母 してアハシ手尋てアハシ手先 アハシ手進てアハシ 朝拜
アハシ 朝拜 アハシの 調度懸

安之部

阿安炯鞅惡音也余訓也

二言

アハ 意對書	アハ 粟	アハ 淡	アハ 阿波羅	アハ 阿波羅
アハ 餐	アハ 敢	アハ 鰯	アハ 味	アハ 音
アハ 末	アハ 蓋	アハ 肩	アハ 白盛	アハ 明

アハ 逢

三言

アハ アハ 子	アハ アハ 變	アハ アハ 樓	アハ アハ 粟田	アハ アハ 合
アハ アハ 子	アハ アハ 淡路醫	アハ アハ 粟田	アハ アハ 何恰	アハ アハ 主
アハ アハ 端諸	アハ アハ 惶急俗	アハ アハ 贖	アハ アハ 良	アハ アハ 價
アハ アハ 遊	アハ アハ 餅	アハ アハ 豆	アハ アハ 預	アハ アハ 吉妻
アハ アハ 洗	アハ アハ 頭露	アハ アハ 俗同	アハ アハ 疎	アハ アハ 葵
アハ アハ 扇	アハ アハ 仲	アハ アハ 血江	アハ アハ 初	アハ アハ 鸚鵡

アハ アハ 脚帶	アハ アハ 網代	アハ アハ 貴	アハ アハ 間	アハ アハ 瑞息
アハ アハ 襖子	アハ アハ 變	アハ アハ 蔓菁	アハ アハ 束草	アハ アハ 篤疾
アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子

四言

アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子
アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子
アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子	アハ アハ 子

あつこえ 厚肥 紙抄云 あつたれ 讀 讀 あつたあ 四 四 あつひ 地場
 あつてく 誂 あつたひ 權 権 あつてえ 鹿場 鹿場 あつてひ 手 手 あつた荒沙
 あつて 危 あつて好 信小 あつた入 刺 刺 あつたつ 十歳 あつたつ 相攻
 あつて海 津 あつてひ 成 あつた教 清音 清音 あつたひ 商 商 あつて 跋
 あつて 草 あつた 短 あつたあ 妯娌 妯娌 あつたひ 相生 相生 あつたひ 相老
 あつた 射 あつた 糞 あつたひ 麻柱 俗 あつたひ 誘 誘
 あつた 末 あつた 履 あつた 贈 あつた 輕 あつた 相

五言

あつて山 權 あつた 變形 あつて 於 あつて 於 あつて 於 あつて 於 あつて 於
 あつて 無 あつて 土 あつて 惶 あつて 赤 あつて 銀 あつて 輪
 あつて 遊 あつて 陽 あつて 會 あつて 白

六言七言八音

あつて 男 あつて 白

左之部

佐砂左差 磋磋沙娑 紗散射作社 若草舎 積崇霜地
 祥讀音也 謝坐座 裁邪共 裝奢 獨音也 箭少 狹猿 割

二言

あつて 求 あつて 妻 あつて 舞 あつて 多 あつて 副
 あつて 半 あつて 出 あつて 來 あつて 才 あつて 草

三言

あつて 銀 あつて 障 あつて 月 あつて 歌

さくえ 榮 さひ 境 さひ 逆 さひ 誘 さひ 技
 さひ 幸男 攪 攪 さひ 浚 さひ 菖蒲 さひ 曹子
 さひ 障子 冊子 さひ 菖蒲 さひ 精進 さひ 上手
 さひ 小枝 求 求 さひ 假皮 さひ 唱可 さひ 瑞出たき
 さひ 支 さひ 齋齋

四言

さひ 松明 松明 さひ 最愛 最愛 さひ 最果 最果 さひ 幸 幸 さひ 爽 爽
 さひ 秋櫻 秋櫻 さひ 盛射 盛射 さひ 罪 罪 さひ 唯馬果 唯馬果 さひ 才覚 才覚

さひ 訓味 訓味 さひ 佐保川 佐保川 さひ 佐保師 佐保師 さひ 遮 遮 さひ 小杜麗 小杜麗

さひ 益 益 さひ 正身 正身 さひ 精進 精進 さひ 草鞋 草鞋 さひ 難後 難後

さひ 早 早 さひ 難 難 さひ 仲々 仲々 さひ 幸 幸 さひ 難後 難後

さひ 嘯 嘯 さひ 鑄 鑄 さひ 付 付 さひ 谷征 谷征 さひ 藝 藝

さひ 象眼 象眼 さひ 盛吹 盛吹 さひ 謔言 謔言 さひ 藝 藝

五言 六言

さひ 道祖 道祖 さひ 松籬 松籬 さひ 生 生 さひ 等 等
 さひ 寂寞 寂寞 さひ 非常 非常 さひ 障 障 さひ 向 向

さひ 去後年 去後年 さひ 壽 壽 さひ 爆 爆 さひ 燈 燈 さひ 在官 在官
 さひ 最席 最席 さひ 校後回 校後回 さひ 向 向

幾之部

伎 紀 貴 幾 吉 岐 支 記 枳 企 奇 寄 綺 騎 既 棄 巾 鬼 祈 祇
 機 基 忌 著 塔 妓 音 也 藝 疑 擬 宜 義 儀 蟻 濁 音 也 城 木 樹
 寸 割 刺 未 杵 訓 也

二言 三言

きん 際 きん 消 きん 雄 きん 飛 きん 黄 蘗

きんご極 きんご 競 きんご 腊乾 きんご 針 きんご 鎌 きんご

きのと甲 きのと 昨日 きのと 蘭 きのと 擊 きのと

四言五言

きりくひ社 きりくひ 栝梗 きりくひ 砒 きりくひ 鞭 きりくひ 浄 きりくひ

きんごの栝梗 きんご 日上 きんご 鏡臺 きんご 吉輝 きんご 杏葉 きんご

きんごの建打 きんご 几帳 きんご

由之部

由游遊吏 瘦愈踰踰用踰 音也弓場訓也

二言

ゆふ 木綿 ゆふ 故 ゆふ 結 ゆふ 田植 ゆふ

ゆひ 遊北

三言

ゆえん 行方 ゆえん 讓 ゆえん 齋場 ゆえん 湯母 ゆえん

四言

ゆゑの 寛 ゆゑの 祝 ゆゑの 祝 ゆゑの 祝 ゆゑの 祝 ゆゑの

ゆゑの 壺 ゆゑの 映 ゆゑの 往 ゆゑの 往 ゆゑの 往 ゆゑの

ゆゑの 射 ゆゑの 鞆 ゆゑの 齋 ゆゑの 齋 ゆゑの

ゆゑの 故着 ゆゑの 會 ゆゑの 會 ゆゑの 會 ゆゑの 會 ゆゑの

五言七言

ゆゑの 女之部 ゆゑの 湯津 ゆゑの

米賣 咩 免 馬 每 梅 味 迷 謎 面 綿 瑋 音也 目 眼 妻 剋 海 藻 二音

二言三言

ゆゑの 煙 ゆゑの 馬道 ゆゑの 馬腦 ゆゑの 目 ゆゑの

四言五言

ゆわく面めん ゆいげん鳴法 ゆわく明州めいしゅう ゆわき羌蕭 ゆい希見
ゆわくと乳母 ゆくせ物 ゆわせ配合 ゆわく桂 ゆわく希見
ゆわくと妻 ゆわくと内人 ゆわくと妻

美之部

美彌微味彌未尾弭寐氏音也箕見三御身臣訓也

二言

水派 水神酒 三輪岩 水 所見

三言

進食 八参河 三 三 岐龍 鬘
燈相 御量 水沫 棟 打
蛭蚓 御莊 御修法 調度 椎枝
見者の美 冷 水

四言

洗菜 厨裏 白 瑞籬 水根
水乳 短 水敷 湖 水根

三保 陸奥 濔標 御溝水 名聞

中途の 歌の 蹊 水登 不才 金婦

俗小大目ニコレト

五言

三保 陸奥 濔標 御溝水 名聞
一ニ云々在茶人の軒と云々瑞苗か云々の異言
久説ありわん老く再遊の主を兒遊と云
水登 不才 金婦
名聞 近所 書

六言七言八言

志士仕之芝師四斯死旨指始信進新式試此紫次
叱司伺詞嗣侍詩思偲施璽尸子矢笑資茲緇色純
絲趾水肆枳音也時事辨自慈兒寺盡茸珥朗是濁音
知磯訓也羊蹄二字

之之部

志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨
志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨
志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨

二言

志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨
志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨

三言

志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨
志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨

志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨
志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨

志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨
志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨

志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨
志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨

志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨
志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨

四言

志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨
志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨

志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨
志月朝 志月臨 志月朝 志月臨 志月朝 志月臨

あひはせ 批 俗中ハナ
 あひま 進退 志のつら 批 敬 志のつら 志尋 志のつら 俗中ハナ 蓋ハナ 味ハナ 別ハナ

五言六言

あひのり 粉 ありま 後言 俗中ハナ
 あひのり 粉 ありま 後言 俗中ハナ

惠之部

惠衛 回限 穢會 繪 音也 咲餌 畫 訓也

二言

あひく 菜具 恵具
 あひぬ 杖 杖 杖
 あひく 笑 志ト 衛士 志ハ 醉 志ハ 離

三言

あひを 槐俗ハ 志トリ 屑兒 志クキ 畫工 志クハ 笑顔 志ハナ 回向
 あひを 槐俗ハ 志トリ 屑兒 志クキ 畫工 志クハ 笑顔 志ハナ 回向

四言五言六言七言

あひを 澹合 志ハナ 淵醉 志ハナ 碑 志ハナ 朝 志ハナ 靴尾
 あひを 澹合 志ハナ 淵醉 志ハナ 碑 志ハナ 朝 志ハナ 靴尾

比之部

比肥 斐卑 妣非 悲飛 必秘 彼被 婢賓 辟避 臂臂 費費 穢
 音也 備昆 毗鼻 眉媚 寐弼 濁音也 日水 乾狎 訓也

二言

ひら 臂又 肱 びら 土 びら 濕 びと 氷魚 びえ 狎
 ひえ 比巖 岩 びえ 冷 びと 鵜

三言

ひと 秀 びら 拾 びと 檜皮 びえ 一重 びえ 偏

ひのチ 七音 びら 八音 びと 九音 びえ 十音

五言六言八言

せむしひ 哉 羊蹄 めちつじ 推衝 めくは 木樨子 兼大
おんごうのつと 主水司 めんごうのつと 文章博士

世之部

勢世齊劑制西栖細哲作音也 是噬筮 蜀音也 背端
迫瀬訓也 石花 二音

二言三言

せう 兄鷹 せひ 鱈 俗名 せいひ 正祀 せうと 兄

せしー 關 せぐ 塞取 せち 衣節會

四言五言六言

せうそと 消息 せうそと 以 せうそと 取物 せうそと 惟 せん 水
せち 軟障 せいの 細男 せあ 鐵條 せん 前裁 せひ 切
せいの 前裁合

須之部

須寸周主 取素數州秀珠殊輸酒葛洲 音也 受授儒
孺聚濁音也 酸醋簾巢訓也

二言

せむ 弟 せひ 吸 せち 假髮 以此 居 せち 未
せむ 鈴 せむ 時 の せむ 儒者 せむ 從者 せし 誦

三言

せむ 周防 暑 せむ 極水 せむ 價直 せむ 受領 せむ 救
せむ 漣 せむ 相 せむ 住 せむ 逗留 せむ 秀才
せむ 雀 せむ 龜 せむ 硯 せむ 京 せむ 巢
せむ 不覺 せむ 楚 せむ 鈴鹿 せむ 鈴鹿 せむ 音

四言

まいごい 透垣 まるくん 水手 まねま 則 まくだい 宿題 まのえん 水飯
まのえん 随分 まのろう 不竜 まのね 蠟墨 まのめ 陶 まのやう 兼條
まのしろ 蘿蔔 まのしろ 髻 まの髪 所餘 まのちり 未生瓜 まのえん 隨身
まのしろ まのしろ

五言 八言

まひ まひ まひ まひ まひ まひ まひ まひ まひ まひ

まひ まひ まひ まひ まひ まひ まひ まひ まひ まひ

尚古假字用格終

まいごい 透垣 まるくん 水手 まねま 則 まくだい 宿題 まのえん 水飯
まのえん 随分 まのろう 不竜 まのね 蠟墨 まのめ 陶 まのやう 兼條
まのしろ 蘿蔔 まのしろ 髻 まの髪 所餘 まのちり 未生瓜 まのえん 隨身
まのしろ まのしろ

まいごい 透垣 まるくん 水手 まねま 則 まくだい 宿題 まのえん 水飯
まのえん 随分 まのろう 不竜 まのね 蠟墨 まのめ 陶 まのやう 兼條
まのしろ 蘿蔔 まのしろ 髻 まの髪 所餘 まのちり 未生瓜 まのえん 隨身
まのしろ まのしろ

文政六年癸未二月 芝神明前 岡田屋嘉七様



文政六年十月
是神明前
岡田屋嘉七
撰